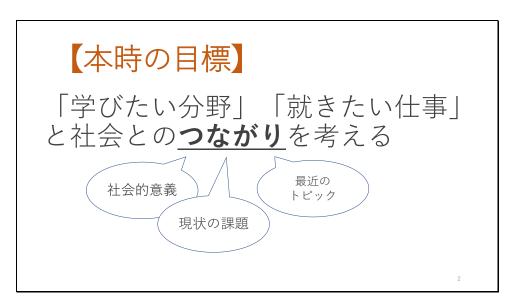
RAP発展A·B

第2回 進路探究 「進路と社会とのつながりを考える」

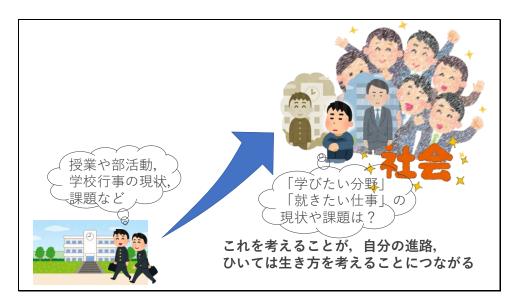
本時の主題は「社会とのつながりを考える」です。

○スライド 2



本時の目標は「学びたい分野」もしくは「就きたい仕事」と社会とのつながりを知ることです。

つながりとは、それぞれの「社会的意義」、「課題」、「最近のトピック」などだと思ってもらえばよいです。



高校で生活する皆さんは、高校のことをよく知っています。

例えば、どのように授業を受けて部活動を行うか、どのような行事があるか、課題となって いることは何かなどを思い浮かべることができるはずです。

一方、社会については、分からないことも多いのではないでしょうか。

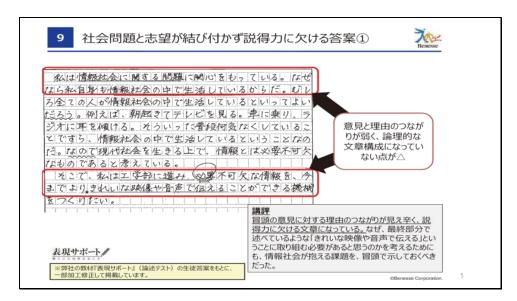
将来社会をフィールドに働いたり生活したりするわけですから、社会について考えること は、自分の進路について考えることにもつながります。

○スライド 4

「学びたい分野」「就きたい仕事」 について考えることが, 自分の進路について考えることに つながる

志望理由書を見て確認してみよう

「学びたい分野」や「就きたい仕事」についてについて考えることが,自分の志望を明確に することにつながるという例を,志望理由書に関する資料(ベネッセ)を見ながら確認しま す。



この志望理由書の答案を読んでください。

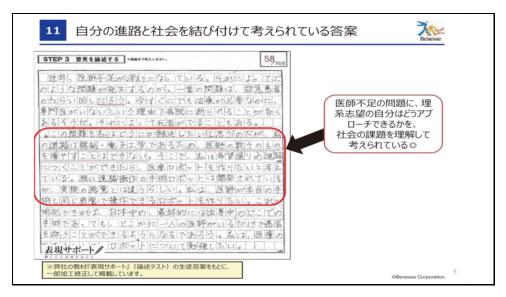
冒頭で「情報社会に関する問題に関心がある」と書いていますが、なぜ最後に書いてある 「きれいな映像や音声で伝える」ことに取り組みたくなるのかつながりが分かりません。 情報社会が抱える課題や、「きれいな映像や音声で伝える」取り組みがどのように社会貢献 につながるのか、などを書くとつながりが分かりやすくなります。

【答案】

私は情報社会に関する問題に関心を持っている。なぜ なら私自身も情報社会の中で生活しているからだ。むし

ろ全ての人が情報社会の中で生活しているといってよいだろう。例えば、朝起きてテレビを見る。車に乗り、ラジオに耳を傾ける。そういった普段何気なくしていることですら、情報社会の中で生活しているということなのだ。なので現代社会を生きる上で、情報とは必要不可欠なものであると考えている。

そこで、私は工学部に進み、必要不可欠な情報を、今 までよりきれいな映像や音声で伝えることができる機械 をつくりたい。



この志望理由書の答案を読んでください。

社会課題である医師不足という問題に対して、自分が学びたい機械・電子工学がどのように 貢献できるかがきちんと書かれています。

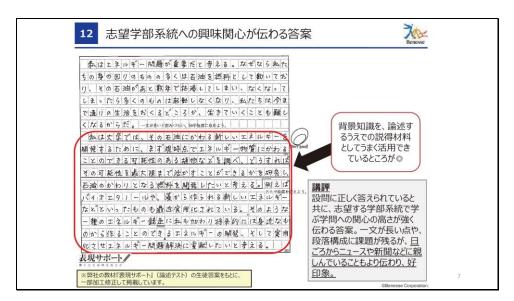
「学びたい分野」と社会とのつながりを考えることが、自分の進路についての考えを深める ことにつながっています。

【答案】

近年、医師不足が深刻なっている。それによってどのような問題が発生するのか。一番の問題は、救急患者のたらい回しだろう。今すぐにでも治療が必要なのに、専門医がいないという理由で病院に断られることが多くあるそうだ。それによって死者がでることもある。

この問題を私はどうにか解決したいと思うのだが、私 の進路は機械・電子工学であるため、医師の数そのもの を増やすことはできない。そこで、私は希望通りの進路 につくことができたら、医療ロボットを作りたいと考え ている。既に遠隔操作の手術ロボットは開発されている が、実際の感覚とは違うらしい。私は、医師が本当の手 術と同じ感覚で操作できるロボットを作りたい。これが

開発でいれば、日本中の、最終的には世界中のどこでの 手術であっても、どこかに一人の医師がいるだけで患者・・・・・



エネルギー問題に関する社会背景などの知識を持っており、自分の進路について深く考えられていることが分かります。

「問題だ」で終わらず、自分なりの解決策を考えられていることも大切です。

【答案】

私はエネルギー問題が重要だと考える。なぜなら私たちの身の回りのものの多くは石油を燃料として動いており、その石油があと数年で枯渇してしまい、なくなってしまったら多くのものは起動しなくなり、私たちは今まで通りの生活をおくるどころか、生きていくことも難しくなるからだ。

私は大学では、その石油にかわる新しいエネルギーを 開発するために、まず現時点でエネルギー物質にかわる ことのできる可能性のある植物などを調べ、どうすれば その可能性を最大限まで活かすことができるかを研究し、 石油のかわりとなる燃料を開発したいと考える。例えば バイオエタノールや、藻から作られる新しいエネルギー などといったものも最近実用化されている。そのような 一種のエネルギー競争に私も加わり将来的には身近なも のから作ることのできるエネルギーの開発、そして実用 化させエネルギー問題解決に貢献したいと考える。

活動の前に

【事務連絡】南高アクションデーについて(予定)

- <目的>2年RAP応用ABの成果をもとにしたアクションプランを, 地域社会の方々などに発表し,アクションの成果を広く知らせる。
- <日時>令和4年7月21日(木)半日
- <発表方法>グループ発表 5分/1班 程度 どちらかで全員が参加 個人発表 ポスター発表
- < 昨年聴講者 > 3 年生生徒, 市役所及び県庁職員, 公民館職員, 古志原地域の方, MINDSメンバー, 他校教員等
- ○できる人は,連休などを利用し2年次に考えた アクションプランを実行に移す準備をしておこう。
- ○個人探究を予定している人は、来週集合してもらう予定です。

詳細は決まっていませんが、今のところこのように考えています。 できる人は、連休などを利用してアクションを実行する準備をしておきましょう。

○スライド 9

本時の活動

ワークシートを使って次の内容を調べたり、考えたりしよう

- 1. 志望大学学部学科の研究内容,就きたい仕事(専門学校を含む)の内容
- 2. 1の内容がどのように社会に活かされようとしているか。 または、どのような社会的背景を受けて1の内容が 研究されているか。
- 3. 1の内容の中で自分はどの内容に関心が湧いたか。その理由は何か。そのことに、どのように関わりたいか。そのことに対する自分の考え $_{\pi \nu}$ 。
- 4. 3で記入した内容を踏まえ、今何をしたいか。何をすべきか。

この後は、タブレット等を利用してワークシートに取り組んでください。 スライドに出ている項目について調べたり考えたりしてもらいます。

0